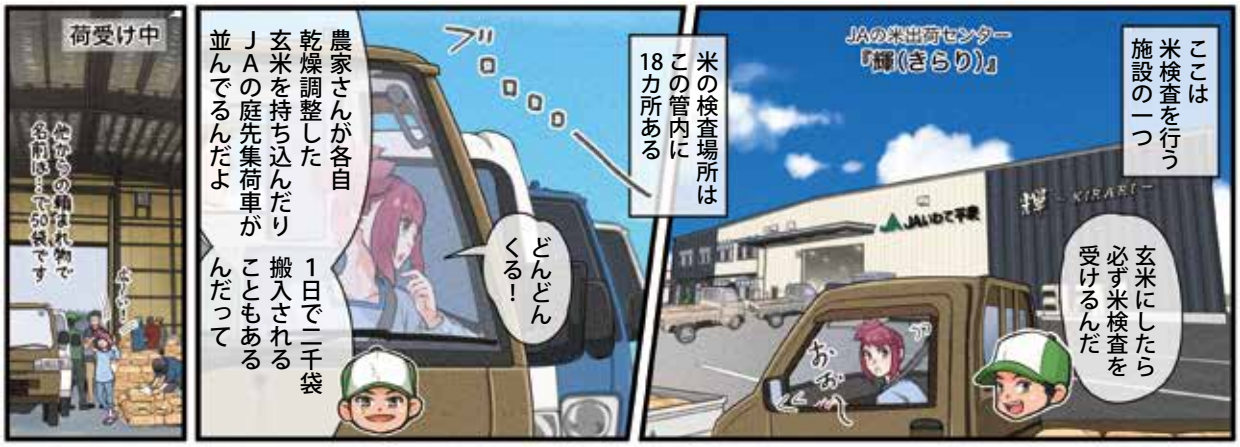


第151話 まんが：じっく
JAの施設を見てみよう～米倉庫～

主人公の竹山はなさんは、現在小学5年生。JAでは、小学5年生を中心に、稲作の体験学習など食農教育を支援しています。JAに出荷されたお米は、米検査を受け、注文が来るまで米倉庫に保管されます。今回は、米検査について紹介します。







編集後記

▽今回の特集では、新規就農に向けての支援について紹介しました。一関地方新規就農トータルサポートシステムを利用して就農した方の感想を聞くと、「周りのサポートがありいろいろなことを聞くことができた」と前向きに取り組んでいる様子が感じられます。JAでは、米、園芸、畜産ごとに若手生産者の交流も行われています。農業に取り組みたいと思う方が増えてほしいと思います。（阿部）



▽「収穫の秋」がいよいよ終わりを迎えています。悪天候が続くなど思うように農作業を進められなかった方もいらっしゃるかもしれませんが、われわれの生活の基礎である「食」は、農業者の皆さんの努力に支えられているという事実は変わりません。今シーズンの収穫が終わった方も、まだこれからという方も、作業がひと段落したときには「お疲れさま！」とご自身をねぎらってあげてください。（熊谷）



発行日／令和8年11月10日　発行／いわて平泉農業協同組合
編集／広報編集委員会（総務部総合企画課）　印刷／岩手日日新聞社
〒021-0027 岩手県一関市竹山町7-1　TEL0191-23-3006（代表）／FAX0191-21-0242
ホームページURL　https://ja-iwatehiraizumi.or.jp/
Eメールアドレス　kosheru@ja-iwatehiraizumi.or.jp